

櫻井利夫教授 略歴・業績目録

著者	金沢大学人間社会研究域法学系
雑誌名	金沢法学 = Kanazawa law review
巻	59
号	2
ページ	3-7
発行年	2017-03-01
URL	http://hdl.handle.net/2297/46861

櫻井利夫教授 略歴・業績目録

昭和26年11月 4日生

学歴及び職歴

- 昭和46年 4月 1日 東北大学法学部入学
昭和51年 3月25日 同法学部卒業
昭和51年 4月 1日 富士通株式会社入社
昭和51年12月 1日 同上退職
昭和53年 4月 1日 東北大学大学院法学研究科博士課程前期入学
昭和57年 3月25日 同課程前期修了
昭和57年 4月 1日 東北大学大学院法学研究科博士課程後期入学
昭和57年 3月25日 法学修士（東北大学）
昭和59年 3月25日 同課程後期中退
昭和59年 4月 1日 金沢大学講師法学部
昭和61年10月 1日 同助教授法学部
平成 2年 8月 1日 同教授法学部
平成12年 6月21日 博士（法学）東北大学（学位論文『中世ドイツの領邦国家
城塞』）
平成20年 4月 1日 同人間社会研究域法学系教授（組織再編に伴う）
（現在に至る）
平成22年 4月 1日 同人間社会研究域法学系長（平成24年3月31日まで）

その他北陸大学法学部、東北大学法学部へ非常勤講師として出講

社会における活動

- 平成16年10月 1日 金沢家庭裁判所家事調停委員（現在に至る）
- 平成20年 3月 1日 石川地方社会保健医療協議会委員（同20年9月まで）
- 平成20年10月 1日 厚生労働省東海北陸厚生局社会保険医療協議会石川部会長
（同28年9月まで）
- 平成20年12月22日 石川県収用委員会委員（現在に至る）
- 平成21年 4月 1日 金沢弁護士会懲戒委員会外部委員（平成23年3月まで）
- 平成22年 9月 1日 社会保険診療報酬支払基金石川支部 幹事会幹事
（現在に至る）
- 平成23年 8月 1日 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査委員（平成24年7月31日まで）
- 平成24年 8月 1日 日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員及び国際事業委員会書面審査委員（平成25年7月31日まで）

学会活動

- 平成13～14年 法制史学会年報『法制史研究』50号（2000年度）と51号
（2001年度）の編集を担当
- 平成16年 6月 1日 比較法学会理事（現在に至る）
- 平成18年 4月 1日 法制史学会企画委員（平成22年3月31日まで）

研究業績一覧

I. 著書

1. (単著)『中世ドイツの領邦国家と城塞』、2000年2月、創文社、総頁420頁
2. (共著)『西洋法制史学の現在 小山貞夫先生古稀記念論集』、2006年5月、創文社、担当部分「ドイツ封建社会における城塞とシャテルニー — 中部ライン領域を例として —」（131～306頁）
3. (単著)『ドイツ封建社会の構造』、2008年12月、創文社、総頁500頁

II. 論文

1. 「ドイツ中世都市におけるミニステリアーレン層—クヌート・シュルツ説の批判的検討—」、『法学』（東北大学）46巻5号、1982年12月（68～105頁）
2. 「中世都市コーブレンツにおける都市ゲマインデと都市君主権—13世紀末期より14世紀中葉に至るまで—（1）」、『法学』（東北大学）50巻2号、1986年6月（122～167頁）
3. 「中世都市コーブレンツにおける都市ゲマインデと都市君主権—13世紀末期より14世紀中葉に至るまで—（2・完）」、『法学』（東北大学）50巻3号、1986年8月（124～161頁）
4. 「16世紀中葉のラント都市コーブレンツにおける都市ゲマインデと都市君主権」、『金沢法学』29巻1・2合併号、1987年3月（101～140頁）
5. 「トリール大司教バルドゥインの城塞政策と領邦国家—レーエン制の視角から—」、『金沢法学』34巻2号、1992年3月（1～83頁）
6. 「トリール大司教領国における城塞と領域政策（1）」、『金沢法学』38巻1・2合併号、1996年3月（53～116頁）
7. 「トリール大司教領国における城塞と領域政策（2・完）」、『金沢法学』39巻1号、1996年12月（45～156頁）
8. 「ザールブルクの城塞区と城塞支配権」、『法学』（東北大学）63巻6号、2000年1月（27～64頁）
9. 「トリール大司教の自由所有城塞ザールブルクの城主支配権とシャテルニー」、『法制史研究』53号、2004年3月（81～112頁）
10. 「ドイツ封建社会における城塞とシャテルニー—中部ライン領域・マンダーシャイトの2つの城塞とケルベン城塞の例—」、『金沢法学』49巻2号、2007年3月（81～113頁）
11. 「神聖ローマ帝国におけるシャテルニー—城塞の「付属物」の視角から—」、『金沢法学』53巻2号、2011年3月（43～98頁）
12. 「一三世紀ヴェルフエン家の城塞支配権とアムト制」、『金沢法学』55巻2

号、2013年3月（65～119頁）

13. 「中世盛期バイエレンの貴族ファルケンシュタイン伯の城塞支配権序説」、『金沢法学』56巻2号、2014年3月（29～69頁）

Ⅲ. 書評

1. 田口正樹著「中世後期ドイツにおけるライン宮中伯の領邦支配とヘゲモニー」（1）～（4・完）（『北大法学論集』、64巻3、4、5、6号）、『法制史研究』、65号、2016年（341～345頁）
2. 服部良久著『アルプスの農民紛争—中・近世の地域公共性と国家』、『史学雑誌』119編4号、2010年4月（85～94頁）
3. 山本文彦著『近世ドイツ国制史研究—皇帝・帝国クライス・諸侯』、『歴史』88輯、1997年（152～160頁）
4. 千葉徳夫著「中世後期・近世ドイツにおける都市・農村共同体と社会的規律化」、『法制史研究』46号、1997年（345～349頁）
5. 林毅著「中世ドイツ市民の法創造的業績—W・エーベルの見解の検討—」
同著「西洋中世都市の理論的把握のために」
同著「ドイツ中世都市研究の意義と問題点—ディルヒャー教授の論文の紹介を兼ねて—」、『法制史研究』45号、1996年（318～321頁）
6. 林毅著「中世都市ケルンの政治的指導層」
同著「中世都市ケルン都市共同体成立過程についての再論」、『法制史研究』34号、1985年（452～458頁）
7. 木村豊著「ケルン大司教領の家人制—家産制的主従関係の一研究」、『法制史研究』33号、1984年（311～317頁）

Ⅳ. エッセー

- 「二つの城の物語」、『創文』519号、2009年5月（16～19頁）

V. 学会報告

1. 法制史学会第38回総会

場所 専修大学

日時 昭和61年4月26日

論題「中世都市コーブレンツにおける都市ゲマインデと都市君主権 —14世紀を中心として—」

2. 法制史学会第53回総会

場所 明治大学

日時 平成13年4月22日

論題「中世盛期のトリール領域における城塞区と支配 —ザールブルク城塞を例として—」

3. 法制史学会近畿部会第436回例会（新年会）

日時：平成27年1月24日

場所：京都大学

招待講演：論題「中世盛期バイエルンの貴族ファルケンシュタイン伯の城塞支配権——ノイブルク城塞を例として——」

VI. 研究報告

「神聖ローマ帝国におけるシャテルニー——「付属物」の視角から——」（招待講演）「ヨーロッパ中世史研究会」（代表者：渡辺節夫氏）2009年12月5日（東京、青山学院大 学文学部）

VII. 公開講座（法学類）（金沢大学サテライトプラザ・西町研修館）

1. 題目「中世ドイツの城塞支配権——ファルケンシュタイン伯を例として——」（2016年6月26日）
2. 題目「中世ドイツの城塞、城塞支配権及び国家」（2009年6月25日）